

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 3年次生 足立壮

1. はじめに

わたしはこのたび国際交流基金の助成を受けて2016年2月28日から3月19日までの間、語学留学をしたので報告いたします。滞在中はホームステイをしながら語学学校 Inforum education に通いながらクラスメート、スタッフの皆さんと交流をしました。

2. 語学学校

General English コース【週20時間レッスン+最大5時間までのワークショップレッスン】月曜日～木曜日 8:50～16:00/金曜日 8:50～14:20

このコースでは英語習得に必要な不可欠な下記要素を基礎から幅広く学んだ(リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング、語学力強化、文法の理解、発音の矯正、ネイティブらしい話し方など)。午前で基本を習得して午後の授業では会話力の強化に注力して授業がすすめられた。語学学校には日本人スタッフの方が常駐しており、海外での生活を様々な面でサポートしてくれた。1クラス15人ほどで、ブラジル人、台湾人、スペイン人など様々な国籍、年齢の学生と勉強した。ほかにもワークショップという無料講座やアクティビティというイベント、企画に参加して、ほかの生徒との交流をすることができた。



3. ホームステイ

わたしのホームステイ先には三人の子供たちがいて、一緒にゲームをしたりサッカーをしたりして過ごした。ホストファーザーもマザーもすごく親切で、つたない英語でも理解しようとしてくれ、また簡単な理解しやすい英語でしゃべったりもしてくれ、とても過ごしやすかった。休日には公園のコンサートにも連れて行ってくれた。



4. 休日

休日には語学学校の友人を誘い観光に出かけた。ゴールドコーストには様々な観光地があり、特に印象に残っているのがナチュラルブリッジ公園の土ボタルである。ツアーは高額なのでレンタカーを借りて行ってみた。洞窟の中で光る glow worm という虫を鑑賞し、すごく感動した。またサーファーズパラダイスという世界的に有名な海水浴場にも足を運び、海水浴やボディボードなどをたのしんだ。

5. 終わりに

すべてのことが新鮮で本当に充実した三週間だった。最初は国籍が違う人に話しかけるのに勇気が必要だったが、フレンドリーな人が多く、すぐに打ち解けることができた。また語学学校での日本人の友人とも交流を続けたいと思った。英語の学習も継続して行い自分の会話力、コミュニケーション能力の向上に役立てていきたい。この留学を無駄にせず、これからの学生生活さらに社会に出てからの生活にも生かしていきたい。